

家庭学習の手引き

たつの市立神岡小学校

家庭学習は、学校で学習したことをしっかり身につけるために、また、自ら学ぶ習慣を身につけるためにとても大切なものです。そして、学力を伸ばすためには、

小学生のうちに机に向かう習慣を身につけることが、後々の学習に大きな影響を与えます。今のうちに習慣化させてください。

☆家庭学習のねらい☆

- ① 子どもに、家庭での学習習慣を身につけさせる。
- ② 子どもに、自発的な学習意欲を伸ばす。
- ③ 子どもに、基礎学力を身につけさせる。

☆家庭学習のさせ方☆

- ① 『宿題』があったら、最初にさせてください。
- ② 時間が余ったら、「学習の手引き」の中から選んでさせてください。
- ③ 早く終わっても、時間までは机に向かわせましょう。『机に向かう習慣』が大切です。
- ④ 勉強が終わったら、次の日の準備をさせてください。

☆家庭学習における保護者の役割☆

① 学習時間の確保

塾や習い事、スポーツなど子どもたちも忙しいとは思いますが、短い時間でも『机に向かう』という習慣を身につけさせてください。『〇時～〇時まで勉強する』という時間設定を、無理の無いように家庭でよく話し合ってください。

<学習時間の目安>

・低学年 20～30分 ・中学年 40～60分 ・高学年 60～90分

② 学習環境づくり

テレビを消す、机の周りを片付けるなど学習に集中できる学習環境を整えてください。ときどき筆箱の中身もチェックしていただき、学習用具の補充・確認（教科書・ノート・定規・コンパスなど）もお願いします。落ち着いた学習環境でこそ、集中力や根気が身につき、たくさんの問題に取り組むことができます。

③ 声かけ・見届け・励まし

- * ノートや作品、暗記の様子などを見て「ていねいに書けたね。」「計算ばっちり！」など声かけをすると「次も頑張ろう」という意欲につながります。ほめたり励ましたりして子どものやる気をどんどん出してやってください。
- * 宿題を最後までやりきったか、宿題以上のものに挑戦したかなど見届けてください。また、学習内容が難しく困っているときや、時間がゆるせるのであれば一緒に考えてやってください。子どもの学習の様子から得意・不得意なものやつまずきなどを把握することが大切です。
- * 学年が上がるにしたがって、自分で学習ができるように少しずつ手を離して行ってください。しかし、手を離しても目を離さないようにしてください。

④ 学力アップは規則正しい生活から

- ・早寝早起きの習慣化 ・十分な睡眠時間の確保（**低**：10時間 **中**：9時間 **高**：8時間）
- ・朝食は必ずとらせる ・テレビやゲームは1日1時間以内

小学校 1・2年生

学習時間の目安
20～30分

☆この頃の1，2年生は・・・

様々なことに興味・関心をもち、自分でやってみたい！なんでも知りたい！時期です。でも、ひとりで学習することや、やり方を決めることはまだ難しいです。手助けをしながら、できたときには、意欲と自信につながるように「よくやったね！」と笑顔でほめてあげてください。

ここがポイント！



① 子どもの学習に関心を！

「家でも勉強する」という学習習慣をつけてください。

- ・時間を見つけて少ない時間でもいっしょにしてください。
- ・いっしょにできないときは後で目を通してください。

② 学習環境について

学習机など「いつも決まった場所」をつくるようにしてください。

- ・テレビは消す。家族が協力してください。子どものやる気につながります。

③ 家庭と学校の協力

学校からのお便りを家族に手渡す習慣をつけてください。

- ・毎日連絡帳を開いてサインしてください。子どもも担任も安心します。



©fumina

この学年で身につけたい力

習慣づけの1年生

- ①ひらがな、かたかなの清音が読めて書ける。
- ②助詞（て、に、を、は）を適切に使って文章が書ける。
- ③1年生の配当漢字のすべてが読めて、8割以上の漢字が書ける。
- ④えんぴつを正しく持って書ける。
- ⑤たし算やひき算が正確にできる。



逃げない子にする2年生

- ①2年生の配当漢字のすべてが読めて、8割以上の漢字が書ける。
- ②順序よく話をする事ができる。
- ③九九がすらすら言える。
- ④たし算、ひき算、かけ算が速くできる。
- ⑤定規を使って筆算をきれいに書きながら、計算できる。
- ⑥決められた長さの直線を正確に引くことができる。
- ⑦時計（アナログ）を見て、何時何分か読むことができる。

繰り返し読む本や昔話を楽しみましょう



1人でもすぐ読めるように手に取りやすいところに本を置いたり、親子で一緒に本を選んだりして、読書環境を整えましょう。時にはおうちの方が読み聞かせをするもの効果的です。



小学校3・4年生

学習時間の目安
40～60分

☆この頃の3、4年生は・・・

自立心が芽生えてくるとともに、自分でやろうとすることが多くなります。好奇心が旺盛でいろいろなことに興味を示し、行動範囲も広がってきます。「急に勉強が難しくなった」という戸惑いや苦手意識をもつ時期でもあります。自信を持たせたり、意欲をふくらませたりするような励ましが必要です。

ここがポイント!



① 子どもの学習に関心を!

がんばりを見逃さず、励ましの言葉をかけてください。

- ・分からないところはいっしょに考えるようにしてください。
- ・子どものちょっとしたがんばりをほめてください。

② 学習環境について

学習の時間又は時間帯をいっしょに決めてください。

- ・テレビやゲームは家族で話し合って時間を決めてください。

③ 家庭と学校の協力

学校からのお便りを家族に手渡す習慣をつけてください。

- ・食事の時に渡すなど約束ごとを決めておいてください。



この学年で身につけたい力

分岐点を乗り越える3年生

- ① 3年生の配当漢字のすべてが読めて、8割以上の漢字が書ける。
- ② 国語辞典を手元に置いて使い方に慣れる。
- ③ 主語と述語の意味がわかり、筋道を立てて話したり書いたりできる。
- ④ かけ算の筆算やわり算など正しい手順で計算できる。
- ⑤ はかりを使って重さが読める。
- ⑥ ローマ字を適切に読み書きできる。
- ⑦ コンパスを正しく使うことができる。



読書で興味関心感動の



幅を広げよう

様々なジャンルの本を読み、楽しかった本やおもしろかった本、感動した本を家族の中で話題にしてみましょう。読書の幅が広がりますよ。

身近に辞書や図鑑、地図、地球儀を置いて知りたいことをすぐに調べられるようにするのも素敵ですね。

『9歳の壁』を破る4年生

- ① 4年生の配当漢字のすべてが読めて、8割以上の漢字が書ける。
- ② 漢字辞典を手元に置いて使い方に慣れる。
- ② 文と文のつながりを考えながら、指示語や接続語を使う。
- ③ わり算の筆算ができる。
- ④ 倍を使った文章題が正しくできる。
- ⑤ 小数のかけ算・わり算ができる。
- ⑥ 分母が同じ分数のたし算・ひき算ができる。
- ⑦ 47都道府県の位置がわかり、正しく書ける。
- ⑧ 地図帳を使って見知らぬ場所や地名を調べることができる。

小学校5・6年生

学習時間の目安
60～90分

自分でやろうとする心が大きく育ちます。また、一人前に接してもらっているか、大切にされているかなど、大人の評価が気になる時期でもあります。体も心も急激に変化する時期なので、バランスがくずれ不安定になることもあります。時には、大人への反抗も見られますが、学習計画の内容や学習に取り組む姿勢を見守り、家族のアドバイスで意欲や興味・関心が持続できるように励ましていきましょう。

ここがポイント！



① 子どもの学習に関心を！

計画を立てて自力で学習を進めるように見守ってください。

- ・子どものちょっとしたがんばりをほめてください。
- ・他の子と比べず、昨日のわが子と比べてほめてください。

② 学習環境について

自分に合った生活リズムをつくらせてください。

- ・夕食前、早朝など、学習に取り組む時間帯を決めるようにしてください。

③ 家庭と学校の協力

思春期を迎え子どもの心と体について気になることがあれば、担任に相談してください。

- ・家庭でも子どもの話をよく聞いてください。



この学年で身につけたい力

天と地の差がつく5年生

- ①5年生の配当漢字のすべてが読めて、8割以上の漢字が書ける。
- ②今まで習った漢字を使った熟語の8割以上が書ける。
- ③割合・百分率を使った問題が解ける。
- ④分数のたし算・ひき算・かけ算・わり算ができる。
- ⑤小数のかけ算・わり算ができる。
- ⑥日本の主な産業の特色について、おおまかに説明できる。



中学校生活に希望が持てる6年生

- ①小学校で習うすべての漢字が読めて、8割以上の漢字が書ける。
- ②小学校で習った漢字を使った熟語の8割以上が正しく書ける。
- ③小数や分数の四則演算が定着し、活用できる。
- ④歴史上の出来事や人物について、理解しおおまかに説明できる。
- ⑤世界の主な国々の位置を、正しく示すことができる。
- ⑥理科の基本的な原理・法則がわかり、実験道具が正しく使える。
- ⑦具体物から抽象的なものへ移行するなかで、習ったことを活用できる。

親子で同じ本を読みましょう



親も子どもと同じ本を読んで、あらすじや感想を話し合い、親子の会話から自分の考えを深めたり、広めたりさせましょう。

かていがくしゅうのてびき(1・2年生)

1 かていがくしゅうをするときには

- ① **まいにち20ぶんから30ぶん**はがんばってがくしゅうしましょう。
- ② はじめに、がっこうのしゅくだいをやりましょう。
- ③ じかんがあまったり、もっとがんばりたいときは、2のなかからえらんでやりましょう。
- ④ テレビはけして、がくしゅうしましょう。
- ⑤ がくしゅうがおわったら、れんらくちょうをみて、あしたのがっこうのじゅんぴをしましょう。



2 しゅくだいのほかに、こんなこともがくしゅうしましょう。

- ① きょうかしよのぶんしょうをはっきりしたこえで、ただしくすらすらとよめるようにれんしゅうしましょう。
- ② 「」のよみかたにきをつけてよんでみましよう。
- ③ ひらがなやかたかなをただしくかくれんしゅうをしましょう。
- ④ かんじのかきじゅんやおくりがなにきをつけてかくれんしゅうをしましょう。
- ⑤ テストでまちがえたかんじやことばについて、ノートにただしくなおしてかいてみましよう。
- ⑥ きょうかしよのぶんしょうで、こころにのこったところやすきなところをノートにかきうつしてみましよう。
- ⑦ につきをかいてみましよう。(できごとをよくおもいだしてかきましよう。) また、かならずかんじたことやおもったこともかきましよう。
- ⑧ ほんをたくさんよみましよう。よみおわったら、ほんのだいめい、かいたひと おもったことをみじかくかいておくといいですね。



家庭学習のてびき(3・4年生)

家庭学習は、学んだことをもう一度ふり返り、たしかな学力を身につけるものです。毎日こつこつと続けていくことが、あなたの生きる力を高めていくのです。

さあ、できるところから続けてがんばってみましょう。

1 毎日、家庭学習をしよう！！ —学力アップは規則正しい生活から！—

- ① 早寝・早起き・朝ご飯・排便を。
- ② 家の手伝いを何か一つでもいいからすすんでしましょう。
- ③ 自分から声を出して、まわりの人にあいさつをしましょう。
- ④ 読書をすすんでしましょう。
- ⑤ ニュースに関心を持ち、できるだけ新聞を読みましょう。
- ⑥ わからないことや新しく発見したことは、本やパソコンで調べてみましょう。
- ⑦ **毎日40～60分**は学習しましょう。
- ⑧ 明日の学習や用具の準備をしておきましょう。



2 宿題のほかにこんな学習をしてみよう！！ —できるところから！—

- ① はっきりとした声で音読の練習をする。(お家の人に聞いてもらいましょう。)
- ② 一日のふり返りとして、したことや思ったことを日記に書く。
- ③ ドリルなどを使って、筆順に気をつけながら漢字の練習を進める。
- ④ 今日の授業で勉強したことを、もう一度家庭学習のノートに写す。
- ⑤ ドリルなどを使って、計算問題をたくさんといてみる。
- ⑥ 分からない言葉を辞書で調べて、用例も書いておく。
- ⑦ テストやプリントでまちがったところをもう一度やり直してみる。
- ⑧ いろいろな本を読もう。読み終わったら、本の題名、筆者、感想なども書いておくといいですね。
- ⑨ ローマ字の練習をする。
- ⑩ 自然や生き物とふれあい、観察してみましょう。
- ⑪ 時間があれば、自分が持っているドリルや問題集にも取り組んでみましょう。



家庭学習の手引き(5・6年生)

家庭学習は、学んだことをもう一度ふり返り、確かな学力を身につけるものです。
毎日コツコツと続けていくことが、あなたの生きる力を高めていくのです。
さあ、できるところから一歩を踏み出していきましょう。

1 家庭学習の習慣化を！！ —学力アップは規則正しい生活から！—

- ① 早寝・早起き・朝ご飯・排便を。
- ② 家の手伝いを何か一つでもいいからすすんでしましょう。
- ③ 自分から声を出して、まわりの人にあいさつをしましょう。
- ④ 読書の幅を広げましょう。
- ⑤ ニュースに関心を持ち、できるだけ新聞を読みましょう。
- ⑥ 新しく発見したことや気になったことは、本やパソコンで調べてみましょう。
- ⑦ 見通しを持って、用具や学習の準備をしておきましょう。
- ⑧ **毎日60～90分**は机に向かう習慣をつけましょう。



2 宿題のほかにこんな学習をしてみよう！！ —自ら進んでしよう！—

- ① はっきりとした声で音読の練習をする。(めあてを持って)
- ② 一日のふり返りとして、したことや思ったことを日記に書く。
- ③ ドリルなどを使って、筆順に気をつけながら漢字の練習を進める。
- ④ 今日の授業で勉強したことを、もう一度家庭学習のノートに写す。
- ⑤ ドリルなどの計算練習を毎日粘り強く取り組んでみる。
- ⑥ 分からない言葉を辞書で調べて、用例も書いておく。
- ⑦ テストやプリントで間違ったところをもう一度やり直してみる。
- ⑧ いろいろな本を自主的に読もう。読み終わったら、本の題名、筆者、感想なども書いておくといいですね。
- ⑨ 身近な生活の中から英語が使われているものをさがしてノートに書いてみる。
- ⑩ 自然科学に関することを調べたり、観察したりしてみましょう。
- ⑪ 日本の歴史や世界の国々に関することで興味を持ったことについて調べてみましょう。
- ⑫ 気になる新聞記事を切り抜いてノートにはり、感想を書いてみましょう。
- ⑬ 余裕があれば自分が持っているドリルや問題集にも取り組んでみましょう。

